



大衆という経済の創造と国家風土における未来という希望の追求

令和7年6月3日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

個人が社会と現実に関性を失わないことは、その自由の許容性において未来を創造する。これらはアメリカの絶対的な強さであり、彼らの大学環境という基盤はその時代における無限の飛躍を与える。

この人々の創造性という絶対的な活力は、彼らの信念であり、それが彼らを世界におけるトッププレゼンスの育成を与えたのである。

これらは人民における自由と渴望という活力であり、自由主義と自由経済システムは、その新しい未来の創造を彼らの経済における先端性とともに入現するものである。

しかし彼らの葛藤と矛盾は常に存在する。彼らは理想化であり、競争と対立という永続性が他方に存在するのである。

しかし彼らの希求する新しい未来は世界に対してその優位性を有し、全ての国家はそれを否定できないのである。

これら人々と権利、理想と創造性という彼らの特性は、その国家の風土において特質すべきものである。

これらが世界のすべての国々においてその現実を理想化するものであり、若者の共有の理想足るのである。

しかし他方においては格差、犯罪などが存在する。これらは共生という概念を有する登用においては、その競争原理を追求する彼らの現実への葛藤があるのである。

しかし彼らの有する創造性は常に未来を実現するものである。それに対して同じ現実を求められる国家は存在しないのである。

これらが理想主義の結果であり、落伍者における退廃という現実が彼らにおいて存在するのである。